

山口県萩市大井七重方言の否定の表現

岡野 信子

I. はじめに

- ①調査対象地： 萩市大井七重（アーイナナエ）は萩市北東郡の山村で、海拔約180メートルの位置にあり、市の中心部からは、およそ13キロメートル離れている。集落は上（カミ）が11戸、下（シモ）が7戸で、話者の家は下にある。人口は62人（平成7年1月現在）で、高年者は農業を営み、中年、若年の人々は市内に勤務している。ここは昭和30年に萩市に編入されるまでは阿武郡大井村（アブグンオーイソン）であった。藩政時代は、大井村は川をはさんで萩藩領と徳山藩領に分かれており、七重は徳山藩領であった。
- ②調査年月日： 1995年2月17日 午後1時～4時10分
- ③話者： 草野幾一（クサノ イタイチ）明治35年4月13日生
草野隆司（クサノ タカシ）昭和31年11月30日生 市役所勤務。
同席者： 清水満幸（シミズ ミツユキ）昭和34年生 萩市郷土博物館学芸員。
- ④調査者・調査場所： 岡野信子、話者のお宅
- ⑤調査方法： 統一調査票による質問調査
- ⑥その他： 幾一氏のみが答えた表現には〈老男〉、隆司氏のみが答えた表現には〈中男〉を附す。両氏の答えにともに聞かれたものには注記を施さない。

II. 調査結果

I 動作・作用の否定表現

1. 行かない ①アメガ フリソーナカラ キョーワ ドケーモ イカン デヨー。
②アメガ フリソージャカラ キョーワ ドッコエモ イカン イヤ。〈①は告知であり、②は主張。文末詞によってこの差異がもたらされている。〉
2. 降らないよ ○キョーワ アミャー {①フラン デヨ。〈告知〉②フラン イヤ。〈主張〉③フリャー セン チャ。〈相手の不安を除こうとする強い表現〉}
3. 行きません ○キョーワ ドケーモ イキマセン。
4. 行きはしない ○ドッコエモ {①イキャー セン イヤ。②イキャー セン チャ。〈「行くなよ」と繰り返して言われた時の返事〉}
5. いらっしゃらない ○センセーワ キョー ドケーモ {①イッチャー ナイ。②オイデチャー ナイ。〈①は軽い敬語、②はより高い待遇の敬語である。〉}
6. 行かなかった ○キョーワ ドッコエモ {①イカダツタ。〈おもに言う〉②イカンダツタ。〈中男〉〈①よりは新しい〉③イカンヤツタ 〈①②より新しい。中年・青年が言う。〉④イカンカツタ 〈中男の自然会話の中にときたま出る。もっとも新しい。〉}
7. 行きはしなかった ○キョーワ ドケーモ {①イキャー セザツタ デヨー。

〈おもに言う。〉②イキヤー センダツタ。〈新〉③イキヤー センカッタ。

〈中男の自然会話の中にときたま出る。〉}

8. 行くまい ○キョーワ ドッコエモ イクマー。

9. 出まい ○キョーワ ドッコエモ デマー。

10. すまい ①キョーワ ナーモ スマー。〈老男〉/②キョーワ ナーモ セマー。

〈中男〉

11. 降らないだろう ○キョーワ オーカタ アミヤー {①フルマー デヨ。〈多〉

②フランジャロー。《誘導》〈中男〉}

12. 降るにちがいない ①アシター デツタイ フル イヤ。/②アシター フル

コタ マチガイ ナイ イヤ。

13. 来ない ○キョーワ ダエモ コン イノ。

14. 来はしない ○キョーワ ダレサエ {①クリヤー セン イヤ。②キヤ セン
イヤ}

15. 来なかった ○キョーワ グレモ {①コダツタ〈老男〉②コンダツタ〈中男〉③
キヤ センダツタ〈中男〉〈強調〉}/○チューカイ コダツタ。〈まったく来
なかった。〉

16. 見ない ①キョーワ ダレサエ ミヤ セン。/②カタデ ミンカッタ。〈まっ
たく出会わなかった〉〈中男〉/③キレーニ デアワザツタ ノー。〈全然出会
わなかったのう〉〈②より③のほうが否定が強調されている。〉

17. 居ない ①ダーエモ オリテガ ナイ。/②ダレサエ オラン。/③ダレサエ
オッチャー ナイ。〈③は軽い敬語であるが、敬語と意識せず日常に言っている。〉

18. 行かずに ○キョーワ ドクケーモ {①イカント ウチー オル イ。②イカー
デ ウチー オル イ。③イカンコーニ ウチー オル イ。}

19. 行かなくても ①ワザクラ イカーデモ エー。/②ハナエテ イカーデモ エ
ー (ことさらに用事を作ってまで行かなくてもよい。)

20. 行かなければ ○ワザクラシーニ オリヤー {①イカンニヤー ヨカッタ。②イ
カニヤー ヨカッタ。〈①を言うほうが多い。〉}

21. 行かねば ○アシター ドネーデモ {①イカンニヤー イケン。②イカニヤー
イケン〈中男〉}

22. 行かねばならない ①イカンニヤー イケン。/②イカニヤー イケン。

23. ～ズ(ヤ・ジャ・ダ)。 ○キョーワ ドクケーモ イカンスクジャツタ。

24. 行きもせず～来もしない。 ○コッチカラ イキモ センニヤー、ムコーカラ
キモ シーサレン。〈「シーサレン」は軽い尊敬語である〉

25. 行くか行かないかわからない ○アシタモ イクヤラ イカンヤラ ワカラン。

II 存在・状態・判断の否定表現

26. これだけしか無い ①コレシキヤ ナエ。②コレギリ デヨ。
27. 無い ○コトシミチョーニ アツイ トシャー ナエ ー。
28. ありはしない。①コトシミチョーニ アツイ トシャー アリヤー セン デヨ。
②コトシミチョーニ アツイ トシャー ハー ナカロー。(こう言うことが多い)
29. 無かった ○コトシミチョーニ アツイ トシャー ナカッタ ー。
30. ありはしなかった ○コトシミチョーニ アツイ トシャー {①アリヤー セダ
ツク。②アリヤー センジャツク。〈新〉}
31. 無いだろう ○コトシミチョーニ アツイ トシャー {①ハー ナカロー イブ
ー。②ハー ナカルマー。(「ナカロー イブー」のほうが強い言いかた。)}
32. 無ければ ○コネー アツイ ナツヤラ {①ナケンニヤー エーソニ ー。②
ナケリヤー エーソニ ー。}
33. 暑くない ○キョーワ ドダイ アツー ナエ ー。(「ドダイ」は「それほど」の意である。)
34. 暑くはない ○キョーワ ドダイ アツーワ ナエ。
35. 暑くなかった ○キョーワ ドダイ アツー ナカッタ。
36. 暑くはなかった ○キョーワ ドダイ アツイ コター ナカッタ。
37. 暑くないだろう ①アシタモ アツイ コター アルマー。/②アシタモ ヒド
ー アツーワ ナリヤ スマー。(あしたもたいして暑くなりはしないだろう)
(この答は「暑くはないだろう」相当のものになっているが、質問文に対してこ
う答えられた。)
38. 涼しくない ○キョーワ アンマリ スズシュー ナエ ー。
39. にぎやかでない ○アンマリ ニギヤカニ ナエ。
40. にぎやかではない ○アンマリ ニギヤカニヤー ナエ。
41. にぎやかでなかった ○アンマリ ニギヤカニ ナカッタ。
42. にぎやかではなかった ○アンマリ ニギヤカニヤー ナカッタ デヨ。
43. にぎやかではなからう ○ハー マエノヨーニヤー ニギヤカニヤー ナカロー。
44. 花ではない ○アリヤー ハナジャー ナイ イヤ。

Ⅲ 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. だめだ(不可) ①ナンボ ヤツテモ ツマリヤー セン イヤ。/②ナンボ
ヤツタツテ ラチャー アカン イヤ。(事は処理できない。)
46. だめな(不可) ①アイツワ ツマラン ヤツジャ。/②ツマラン ヤツジャ。
コンナー キレーニ モトーランカラ ー。(「こいつはまったくだめなやつ
だから」の意である。)
47. つまらない(不可) ①モトーラン コトー ユーナ。/②ツマラン コトー

ユーナ。／③コネーナ ホネオ オツテモ ヤチモナエ コトジャー アル。(「ヤチモナエ」は「精がない」「やり甲斐がない」の意味である。)

48. いけない(禁止) ①イッチャー イケン デヨ。／②イッチャー ツマラン
下ー。(目下に言う)
49. 行カレン(禁止) ①イカレン デヨ。(子供をさとする言いかたである)
50. 行くな(禁止) ○ソネーナ トコニャー {①イクナ(男性どうしのことばである) ②イキサンナ(やさしいことば。おもに女性が言う。男性も対女性語として言うことがある。③イキンナ(若い女性のことばである。)}
51. するな(禁止) ○ワヤクー スンナツ チャ。(男性のことばである。女性なら「シンナ」であろう。)
52. 行くもんではない ○ソネーナ トコエ {①イッチャー ツマラン ドー。(きびしい言いかたである。) ②イカン コト イノ。(さとする言いかたである。) ③イカンガ エー。(おだやかなさとしである。)}
53. たまらない ○キョーワ アツーテ {①イケン デヨ。②サバケン デヨ。③ヤレン デヨ。(強い言いかたである)}
54. しかたがない ○アメガ アガル ソー マッチョツテモ {①ラチャー アカン。②ショーガナイ。} ハイ イコー ヤー。
55. 案ではない ○エンポーマデ アルクサー ヤオーナエ。○ソリャー ノセン デヨ。(「ヤオーナエ」と「ノセン」はこのように呼応して使われることが多い。)
56. 歩きたくない ○エンポーマデ アルキトー ナエ。
57. 大丈夫だ ○セワーナエ。／②ソネー キズコーチャ フーテモ エー。／③ソネー アンジチャ フーテモ エー。

IV 否定の応答表現

58. いや ①イーヤ フリャー セン。(現在形で答えることが多い。)/②イーヤ フランジャツタ。
59. いや。(強い否定) ○イーヤ フー。フリャー セダツタ。
60. いいえ。 ○イーエ フー。フリャー シマセン イノ。(現在形の答が出る。)
61. いや。(否定問いかけに対する応答) ①イーヤ フック デヨ。
②イーヤ {①フリャー セダツタ。②フリャー センジャツタ。}
62. どういたしまして ①イーエ フー アナタ。／②イーエ フータ。(相手が高年のばあいは中年の自分も言う)/③イーエ フンタ。

V 不可能の表現

63. できない ①ソネーナ コター アタクシラー ヨー シマセン。(ていねい) /②ソネーナ コター ワジャー ヨー セン デヨ。

(注) 可能の表現に「ヨー スル」は言わない。「スル コトガ デキル」と言う。

64. 読むことができない(状況) ○ク^ライカラ シンブンガ {①ヨマレン。②ヨメン。〈中男〉③ヨム コトガ ナラン。}

(注) 状況可能の表現は「①ヨマレル②ヨメル③ヨムコトガ ナル」である。

65. 読むことができない(能力) ○シンブン ヨー ヨマン。

(注) 可能の表現に「ヨー ヨム」は言わない。「ヨム コトガ デキル」と言う。

66. 出られない(心理的状況) ○コネーナ ハデナ {①ブージャ②カタジャー} マチニャー ヨー デン。

67. 食べられない ○コノ ナバー {①クワレン デヨ。〈老男〉②クエン デヨ。〈中男〉③タベラレン(主として女性が言う)④タベレン(若い女性が言う)}

68. 食べることができない ①イソガシューテ ヨー タベダック。〈心理的にそれどころではなかったという回答である。〉/②イソガシューテ ヒルゴハンモ タベラレン。〈そのような状況であったという回答である。〉/③ヒルママトコロジャ ナイ デヨ。イソガシーカラ。/④ヒル クー ナカエモ ナカック。(昼食をとるひまもなかった。)

VI 反語・反発の強調表現

69. 知るものか ○ {①ソントナ②ソネーナ} コトー ダエガ シル キャー。

70. 誰が行くものか ○ソントナ トコエ ダエガ イク キャー。ダエサエ イキ
ャー セン。

71. なんて行くか(行くものか) ○チシテ イカニャー イケン ソカ。イコー
コトガ ナイ。〈「なぜ行かねばならないのか。行くわけがない。」の意である。〉

72. なんて恥ずかしいものか(なんて恥ずかしからるか) ○チニガ ハズカシー
コトガ アロー カエ。デーデカラ イヤ。〈「出なくっちゃ」と添える。〉

73. 行かないでおるものか(行くとも!) ○ソリャー ワシガ イカーデ ヤ。ダ
エガ イク カ。ホカニ。

74. やれるか ①オマエニ デキル ソカヨ。ヨー センジャロー ガエ。/②エー
カヨ。ヨー スリャ スマー ガヨ。/③エー カヨ。ヨー スマー ガヨ。

75. シテイラン ○ソネーニ イヤジャッターラ {①モーデヌー〈しないでよい〉②
シテクレンデモ エー。}

VII 特定の副詞のかかわる否定表現(付. 否定形式の見られる特定副詞)

76. 少しもはかどらない(少しも〜ない) ○アツーテ テンデ シゴトガ ハカド
ラン。

77. ぜんぜんできていない(ぜんぜん〜ない) ○シゴトガ ヒトツツモ デキチョ
ラン。

(注) 「ぜんぜん」に相当する副詞は、以下にあげるように、非常に多い。

カ^ニイ^ニサ^ラ・ヨ^イヨ^ニ・テ^ンデ^ニ・イ^ツソ^ニ・チ^ユー^ニキ^ャー・カ^タデ^ニ・キ^レー^ニ・コ^クク

レ^モク^レ (皆目)・ヒ^トツ^ツモ

78. いっこうに降らない (いっこうに～ない) ○ア^メガ カ^イサ フ^ラン。

(注) 「いっこうに」相当の副詞としては、「77. ぜんぜん」に挙げられた副詞がすべて挙げられた。「ぜんぜん」と「いっこうに」の区別がないようである。

79. あまり降らない ○コ^トシ^モ ア^ミャー ジョ^ーニ フ^ラン フ^ー。

(注) 「あまり」相当の副詞には、ア^ンマ^シ (中男)・ワ^リヤ^イ・ソ^ネー^ニャーなどがある。

80. (予想外に) たくさん ①オ^モイ^モヨ^ラン ジョ^ーニ ト^レタ。/②ド^ヒョーシ^モナ^エ ヨ^ー ト^レタ フ^ー。/③チ^ユー^ニ ト^レタ。

VII その他、否定形式の関わる諸表現

81. いいではないか ○ワ^ザクラ イ^カー^デモ {①エ^ージャ ナイ カ。②エ^カローガ。 (②のほうが出やすい。)} }

82. いいのではないか ○ワ^ザワ^ザ イ^カー^デモ エ^ーン^{ジャ} ナイ カ。 (「エーノント チャウ カ」は言わない。)

83. いいかもしれない ①ワ^ザワ^ザ イ^カー^デモ エ^ーカ^モ シ^レン フ^ー。 (古) ②ワ^ザワ^ザ イ^カー^デモ エ^ーカ^モ ワ^カラン デ^ヨ (新)

84. 行かないか ①イ^ッシ^ョニ イ^カン カ^フ。②ド^ーシ^ンセ^ン カ^フ。③イ^ッシ^ョニ イ^ッチャ^ー ナイ カノ。 (軽い敬語である。)

85. くないか ①モ^ッテ ク^レン カ^フ。/②モ^ッテ ク^レン カ^フ。 (「ク^レンカ^フ」よりやさしい言いかたである。) /③モ^ッテ ク^レチャ^ー ナイ^フ。 (①②よりは上位待遇の表現である。)

86. くれませんか ○コ^リョー モ^ッテ {①ク^レマ^セン カ。②ク^レマ^セン カ^フ。 (①より②のほうがやさしい調子である。)}

87. くれませんか ○コ^リョー モ^ッテ {①ツ^カサ^レマ^セン カ。②オ^クレ^マセ^ン カ。 (①のほうがより高い待遇である。)}

88. 行かないと (行けば) ○ハ^ヨ イ^カン^ニャ^ー。

III. 総括

I. 動作・作用の否定表現に関して

- (1) 動作・作用の否定表現には、否定の助動詞「ン」が働く。「20. ～なければ」、
「21. ～ねば」相当は「～ニャー」であるが、「ン」を挿入して「～ンニャー」となることが多い。
- (2) 否定の過去の表現「6」「7」では「～ダッタ」(ザッタ)が働くが、新しい表現として「ンヤッタ」「ンカッタ」もある。「ンダッタ」は「ンヤッタ」に類推したものであろうか。前出の「～ンニャー」と同様に、否定表現を明確にしようとして「ン」を挿入する。

- (3) 「5. いらっしゃらない」の「イッチャー ナイ」・「オイデチャー ナイ」、「17. 居ない」の「オリテガ ナイ」では形容詞の「ない」が否定表現に働いている。
- (4) 「8」「9」「10」の否定の意志表現、「11」の否定の推量表現には「マー」（まい）が働いている。なおこの調査では萩市域の青少年の調査はおこなっていないが、1990年の下関市調査では、青年層では否定の意志表現の「マー」はほぼ半数の地点で聞かれたが、否定の推量表現の「マー」は、30地点中、わずか1地点でしか聞かれなかった。

II. 存続・状態・判断の否定表現に関して

- (1) 存続・状態・判断の否定表現には、形容詞・補助形容詞の「ない」が働いている。
- (2) 否定表現の強調は、「アツイ コター ナカッタ」（暑いことはなかった）のように言う。
- (3) 「31. 無いだろう」相当の表現には「ナカロー」とともに「ナカルマー」もある。
- (4) 「32. 無ければ」相当の言いかたには、「ナゲリヤー」とともに「ナケンニヤー」がある。「ナケンニヤー」ハ「行カンニヤー」などに類推した言いかたであろうか。
- (5) いわゆる形容動詞の否定は、「ニギヤカニ ナエ」（39. にぎやかでない）、「ニギヤカニヤー ナエ」（40. にぎやかではない）のように、「～ニ ナエ」「～ニヤー ナエ」である。

IV 否定の応答表現に関して

- (1) 「61. 否定の問いかけに対する応答」では、問いかけの内容を肯定するばあいも否定するばあいも、否定の応答詞「イーヤ」で受ける。

V 不可能の表現に関して

- (1) 状況不可能の表現と状況可能の表現はよく対応していて、「ヨマレン」「ヨメン」「ヨムコトガ ナラン」に対応して「ヨマレル」「ヨメル」「ヨムコトガ ナル」がある。
- (2) 能力不可能の表現、心理的不可能の表現の「ヨー ヨマン」に対応する「ヨー ヨム」はない。ただし、大津郡の三隅町、また阿武郡田万川町江崎では「ヨー ヨム」を聞いたことがある。
- (3) 長門域全般を見ると、このいわゆる能力不可能・能力可能、心理的不可能・心理的可能の表現が多様である。南部の下関市・豊浦郡では、「ヨミエン」・「ヨミエル」（読み得る）と言い、ここに続く大津郡の油谷町・日置町・長門市の海岸域、および萩市の離島である見島では、「ヨー ヨマン」とともに「ヨミヨラン」・「ヨミヨル」も言う。「ヨミヨル」は「読み得（ウ）る」であろうか。あるいは「ヨミエル」の音変化形であろうか。「ヨミヨラン」はそれをラ行五段に活用させた否定形である。
- (4) 下関市と豊浦郡には北部九州から能力不可能・心理的不可能を言う「ヨミキラン」も入っている。その肯定形「ヨミキル」を言うことはあまり栄えていない。

Ⅷ その他否定形式の関わる諸表現に関して

- (1) 81～88の諸表現を見ると、否定形式が、自己の判断の表出・推察・勧誘・依頼・勧奨などの諸表現に多用されていることがよくわかる。判断の表出・勧誘・依頼では、それは問いかけ表現と重ねられて、自己表出を控えめなものとしている。このように見てきて、日本語表現の上に否定形式の持つ役割りのかなり大きいことに気付かされている。

(おかののぶこ 梅光女学院大学)